

オリンピック・パラリンピック推進事業の振り返り

①実際に体験した車椅子バスケットボールは、体験前に描いていたイメージとどう違いましたか？

- ・車椅子のトリッキーなプレーが見れて、とても興奮して楽しかった。
- ・思っていたよりも車椅子を動かすのは難しかった。
- ・選手に持ち点があり、障害の度合いで変化するとは知らなかった。
- ・激しいスポーツだった。私たちが障害者・健常者と勝手に分けていただけだった。
- ・車椅子に乗っていても、普通の人のようにバスケットボールをしていた。

②障害者が生き生きと生きられる社会とは、どんな社会だと考えますか？

- ・町にエスカレーターやエレベーターなどが増え、手助けし合える社会。
- ・手すりなどの設備があったり、一人一人が障害者のことを考える社会。
- ・日本人全員がもっと障害者のことを理解すべき。外国の人のほうが理解している。
- ・偏見で全然助けようとしなかったり、あまり声をかけないのはよくない。

③感想を自由に書きなさい。

- ・自分たちができなくても障害者にはできることがある。もっと障害者の方を尊敬したい。
- ・このパラキャンを体験したことで、以前よりお年寄りや障害者の方に親切に接してあげようと思った。もしも、自分がそのような体になったら、この機会を思い出し、生活していけたらいいなと思います。
- ・松井さんの笑顔が素敵でした。
- ・ドリブルがとても早く、シュートを上手に決めていて、感動した。
- ・普通の車椅子と競技用の車椅子の違いがよくわかった。